

港北区地域子育て支援拠点とろっぴは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日（隔月1回日曜開館あり）9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



～子どもがまんなか、みんなで子育て～

各プログラムの詳細は
HPでご確認ください



ひととき預かり

いつもの場所での
預かりなので安心！
預かり時間の前後も
ひろばで遊べます。



※とろっぴ大倉山のひととき預かりは
2026年3月末をもって終了しました。
とろっぴサテライト(綱島)は引き続き
ひととき預かりを実施しています。

助産師と みんなの知恵袋

母乳・ミルク・離乳食
などはもちろん、産後
の体調のことなどを
助産師さんとみんな
で話しましょう。

横浜子育てパートナー

子育て中の家庭、妊娠中の方が子育ての
情報を知りたい時、悩みを抱えている時など、
気持ちに寄り添いながら、必要な情報提供や
適切な支援機関を紹介します。
皆さんが足を運びやすい場所でお会い出来たら
と思い、商業施設や子育てサロンのご協力を
いただき、出張相談会も毎月開催しています。
スケジュールは、とろっぴHPやInstagram、
ココアプリでチェックしてくださいね♪

横浜子育てパートナー専用電話番号
火曜～土曜 9:30～16:00
(匿名の電話相談も可)
大倉山:045-547-1180
綱島:045-547-1182

新横浜 出張ひろば りぼん

0歳から就学前までのこども、妊婦
さんとそのご家族向けに地域情報
のご案内や交流ができる場です。

～会場～ ※変更になりました
*岩崎学園新横浜第二保育園
*ペガサス新横浜保育園
・ペガサス夜間保育園
(詳細はHPでご確認ください)

ほっぷっぴ

みんなでつくるあそび
のプログラム。一緒に
遊びましょう！とろっぴ
からは公園にも遊びに
行きます。

両親教室

赤ちゃんを迎える準備をみんな
で始めませんか？参加しやすい
場所、またはオンラインを選択
できます。港北区で出産する方
が対象です。

あっぷっぴ

初めての子育てが
スタートしたばかり
の「家族」と赤ちゃん
のためのプログラム。
ゆったりとした時間
を過ごせます。
とろっぴ以外に、公
立保育園でも開催し
ています。

「ななつから・・・」

港北区の訓練会とサークル
からなる「ななつから・・・」は
それぞれの活動を共有し、
情報交換しながら、課題や想い
を発信しています。いつもの
活動より少し枠を広げた参加型
企画「ななつから・・・」プラスも開催
を予定しています。

ふたごちゃん みつごちゃんの会

多胎児家庭のための
プログラム。親子で
のんびり過ごしなが
らおしゃべりをしまし
ょう。

ダイナミックひろば

新聞あそびなど身近なものをつかって、
みんなもダイナミックに遊びましょ！

出産準備プログラム

妊婦さんや先輩家庭のリアルな生活を知り、
産後に役立つヒントをもらえます。
妊娠7～9か月頃の方、第一子の方も、第二・
三子の方も、ぜひ！！保育園とのコラボ企画
や、産前トークは第二子以降の回もあります。

とろっぴ

父親とこどもが集まって
ゆる～く話す場です。
初めの方も是非！

外国人のかぞくの ティータイム

はなしをしたい。
ともだちがほしい。
にほんでくらすがいこくの
ひとはあそびにきて
ください！

とろっぴみらいカフェ

とろっぴの「これから」について、利用者
とスタッフが一体となって「みらい」を考
え、作り出す場です。ひろばの環境整備
や季節のイベントなどを企画しています。

こども誰でも通園制度

全てのこどもの育ちを応援し、
こどもにとって、快適で良質な
成育環境を整えることで、すべての
こどもたちの健やかな育ちを
支援します。
(詳細はHPもしくはお電話にて
お問合せください)



港北区地域子育て支援拠点どろっぴは、主に0歳から就学前の子ども・妊婦とご家族、地域で子育てを応援している方のための施設です。

<https://www.kohoku-drop.jp/> Check our website for the schedule in English

開館日時：火曜日～土曜日（隔月1回日曜開館あり）9:30～16:00 祝日・年末年始・特別休館日あり



「こども誰でも通園制度」から紡ぎ出す、それぞれの「挑戦」

「全てのこどもの育ちを応援し、良質な成育環境を整備する」という趣旨のもと、どろっぴ大倉山では2年間の試行を経て、この4月から「こども誰でも通園制度」が本格実施となりました。4年半継続してきた一時預かり事業は終了となりましたが、新制度では定期利用に加えてスポットでの柔軟利用も可能となっています。

「就労していないため諦めていたが、こどものための制度なら申し込めると思った」という切実な声や、第2子妊娠中の方、拠点未利用の家庭など、定員枠を拡充したことで一歩を踏み出しづらかった家庭とも繋がる大切な機会となりました。

ある日の預かり中のことです。場に慣れないこどもが、最初は不安で保育者にずっと抱っこされていました。外遊びをする友だちをじっと見つめるその瞳には「自分もやってみたい！」という強い意志に溢れていました。保育者とのやり取り、そして自分自身の葛藤の末、自ら勇気を出して地面に降り立った瞬間、その時の何ものにも代えがたい満足気な表情は今でも忘れられません。私たちはこうしたこども自身の「挑戦」を全力で応援したいと考えています。たとえ失敗に終わったとしても、そこに至るまでの心の変化を親や周囲にいる人たちと分かち合い、共に喜び合える場でありたいと願っています。

この挑戦は親自身にも連鎖しています。預かりを通じて「自分に戻れる時間」が持てたことで、以前の仕事に再挑戦しようと前を向き始めた方やこどもの外遊びを願う親に、私たちが連携している公園遊び団体を繋いだところ、親自身が運営に携わるようになった嬉しい事例もありました。

こどもも大人もワクワクしながら挑戦できる場があることで、その人が持つ本来のチカラが引き出されていき「我が子だけでなく、他者のことも気かけ、共に動く」こうした意欲の循環こそが、地域全体でこどもを育む豊かな土壌となり地域への還元や、自分自身の子育てを肯定的に捉え直す力に繋がっていくのだと教えてもらいました。

公的な制度やサービスは単に「受けるもの」ではなく、たとえ数時間の利用であっても心ある人の温もりに触れ、他者からの気づきを得ることで自分を確立し、社会の一員として自らの一歩を踏み出す勇気が豊かに育まれていくことを、私たちは現場で痛感しています。支援をする側・される側という一方の関係ではなく、誰もが誰かのためにチカラを発揮し、挑戦することで見出される可能性を認め合える、そんな双方向の関係を築ける街こそが誰にとっても住みやすく、住み続けたい地域になると信じています。これからも地域の皆様とともに、一人ひとりが自分らしくいられる物語をこの街の中で丁寧に紡いでいきたいと思っています。

【どろっぴ施設長 田之畑 有美】



発行：2026年4月

港北区地域子育て支援拠点

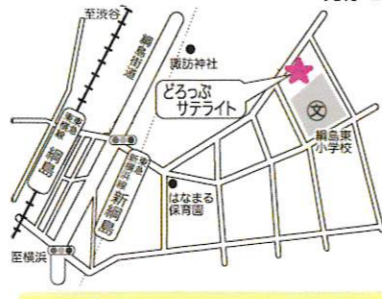


どろっぴ
港北区大倉山3-57-3
TEL045-540-7420
東急東横線大倉山駅徒歩 10分
または市営バス 41系統
川向町行き『観音前』下車すぐ



どろっぴサテライト
港北区綱島東3-1-7
TEL045-633-1078
東急東横線綱島駅
北口徒歩 10分
東急新横浜線新綱島駅
北口徒歩 8分

横浜子育てサポートシステム 港北区支部事務局
TEL045-547-6422（直通）
大倉山どろっぴ 受付：火曜日～土曜日 9:00～17:00



港北区地域子育て支援拠点は、認定NPO法人びーのびーのが、横浜市港北区から受託して運営しています。

ハローワーク港北マザーズコーナー お仕事ふらっと相談

みなさん、普段お仕事のことを考える時にどうしていますか？
どろっぴでは、ハローワーク港北マザーズコーナーからスタッフの方が来てくれて、ひろばでふらっと相談できる日があります。相談した利用者のみなさんは、「子育てしながらお仕事に復帰するってどんな感じ？」、「結婚出産を経て一旦は退職したけれど、また落ち着いたら働くことはできる？」、「今はまだ働く気持ちはないけれどお仕事のことも気になる…」など、様々お話をしたり、聞くことができています。

ハローワーク港北マザーズコーナーでは日頃からたくさんの方の相談に乗っていることもあり、

「他の家庭はどんな感じなのだろうか？」「どんな工夫ができるだろうか？」と、お話をしながら様々な工夫やアイデアをもらうなど、がんばっている親子は自分たちだけでないと感じられたり、新しい生活へのヒントとなったり、この場が今後の自分の働き方を考えるきっかけになるといっています。どろっぴは、これからも信頼できる人や情報とつながって、親自身が安心して子どもに向き合えることを願い、応援していきたいです。



外国人のかぞくのティータイム ～どろっぴの紹介も英語版で～



どろっぴのひろばには、いろいろな国にルーツを持つ親子も遊びに来ます。日本語に囲まれている暮らしの中で、日本のお茶を飲みながら母国の言葉で話す機会や、文化や生活習慣の違いからの困りごとなどを共有することで、ホッとできる交流の時間を過ごしてほしいという思いから、このプログラムが生まれました。ティータイムでは、母国への里帰りや言語でのコミュニケーションについて、文化の違いによる驚きエピソードなど、様々な話が飛び交います。また、国際交流ラウンジの「たぶんか(多文化)ママカフェ」というプログラムにもスタッフと一緒に参加でき、地域との関わりを広げたり、日本での子育てがより楽しくできるように、プログラムを通じて応援したいと思っています。

今年度より、日本語での説明がなかなか難しかった「どろっぴ紹介チラシ」の英語版も用意しました。どろっぴ来館時にお渡しできますので、スタッフまでお声がけください。

あつぷつぷ ～時間変更のお知らせ～

利用者の方から、「午後に参加できるプログラムがあると嬉しい」というご意見をいただき、今年度よりあつぷつぷの時間を「14時～15時」に変更しました。

初めての子育ては不安も多くなる時期ですが、地域の方や2～5か月という月齢の近いお子さんを持つ家庭がつながり、おしゃべりをしながら、ゆったりとした時間を過ごしてもらえます。これからもみなさんからのご意見を取り入れながら、安心してすごせる場になればと思っています。

「ななつから…」のリーフレットを改訂

「ななつから…」のリーフレットには、定期的に活動している地域訓練会やサークルの紹介のほか、地域にある「ふらっと遊びに行ける場所」についても掲載しています。4年ぶりに改訂をし、掲載内容を更新しましたので、こどもたちが思い思いに過ごせる場、親同士の交流や情報交換ができる場、聞きたいことや話したいことをみんなで話せる場を探している方はぜひ手に取って見て下さい。（どろっぴHPからもダウンロードできます）



どろっぴnote

2022年8月からスタートさせたどろっぴnote。毎月1回の公開ですが、どろっぴとして歩んできた道のりの中での取組背景や活動意義、これからも推進していきたい内容やプログラムなどもプロセスを大事に重ねていきたいと思い、noteを通じてどろっぴの活動を発信しています。また、昨年9月からは「どろっぴ・港北区子育て支援ニュース」もnoteで公開しています。記事の感想なども寄せただけだと嬉しいです。

どろっぴnoteはこちらから→



〈どろっぴに関わる情報発信〉

どろっぴLINE通信

メールでお送りしている「港北区子育て支援メールニュース」やどろっぴ、認定NPO法人びーのびーのから活動内容や取組みなどの近況をLINEで受け取れます！



子育て応援 ココアプリ

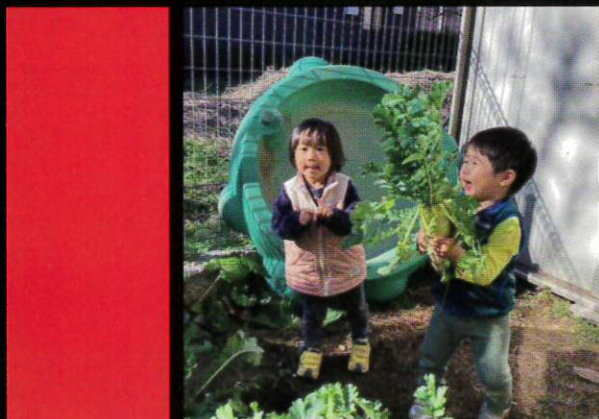
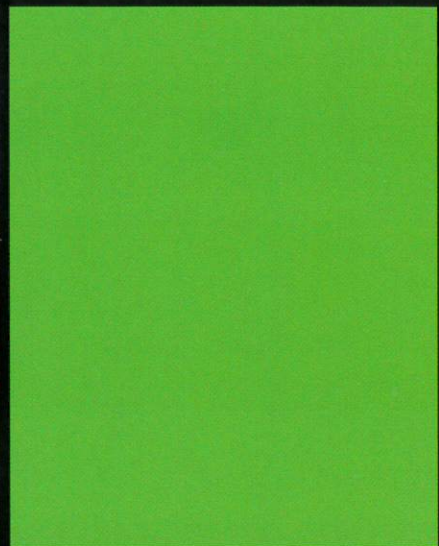
「岩崎学園情報科学専門学校」と「港北区役所」と「港北区地域子育て支援拠点どろっぴ」が共同開発。情報を受け取りやすく、より便利に！毎週お知らせを配信♪インストールはストアで「ココアプリ」で検索！



ココマップ

近場で楽しめる情報が盛りだくさん！クチコミ情報の投稿もできます。スマホでも見やすくなりましたので是非チェックしてみてください♪





どろっぴ

